

進路だより Together 第2号

進路に関する様々な取り組みや情報をお伝えします。

令和6年2月
富山聴覚総合支援学校
進路指導部

「進路指導への関心の高さ」

中・高等部教頭 大村 和彦

今年度、安心・安全メールで保護者の皆様に朗和会アンケートを何度か実施いたしました。中でも、学校ホームページに高等部の専門教科や就業体験に関する記事を載せてほしいとの要望が多く聞かれました。保護者の皆様の進路指導に関する関心の高さが伺えました。

ご存知でしょうか？地域のハローワークがどこにあるか、18歳以上の療育手帳の更新はどこで行うか、障害者年金の手続き、成年後見制度についてなど……。見たり、聞いたりしたいと思われることがあれば、アンケートにお書きください。

12月には「先輩に学ぶ」、1月には「第2回キャリア教育就労支援委員会」を開きました。先輩やお世話になっている関係機関の皆様から、貴重なご意見をたくさんいただきました。一度、お子さんと進路についての話をしてみていただき、お子さんの夢をきいてみていただくと幸いです。



◀ 福祉・サービス科
ワークトレーニング作品

進路学習「先輩に学ぶ」

12月13日に毎年行っている進路学習「先輩に学ぶ」を開催しました。今回は、現在、東ソー・セラミックス株式会社に勤務している先輩と富山村田製作所に勤務している先輩に来ていただき、中高生徒に学校時代に頑張ったことや現在の仕事で気を付けていることなどを分かりやすく話してもらいました。

Q. 学生時代に学んだ大事なこと・今からしておくべきことは？

- ・「報・連・相」
- ・終わった後に、もう一度確認をすること
- ・相手に伝わる話し方

- ・PCの基本を学んでおくことと働いてから困らなかったです。
- ・筆談の機会が多いので、文字を素早く、きれいに書く練習をしておくといいです。

Q. 仕事で気を付けていることは？



- ・ミスをしたくないこと：ミスはいろんなところに迷惑がかかるので、ミスをしないようにメモをチェックしたり、繰り返し確認したりしていました。
- ・身だしなみ：できていないと一緒に働く人たちからやる気がないように見られるため、ミスしないことと同じくらい気を付けています。

- ・自分から積極的に挨拶すること：笑顔で挨拶を返されると元気が出ます。
- ・コミュニケーション：仕事の合間にコミュニケーションをとることで、気軽に相談できる信頼関係を築けるよう意識しています。
- ・できること、できないことをしっかり伝える：伝えた上で、どうしたらできるようになるかを上司と相談しています。



Q. 給料はどのように使っていますか？



自分のおこづかいとは別に、生活費として、家にもお金を入れています。

一人暮らしをしているので、使ってもいい金額を決めて、その範囲内で生活をしています。



第2回キャリア教育就労支援委員会より

1月26日（金）に本校にて、キャリア教育就労支援委員会が開かれました。外部委員として、（株）富山村田製作所、ハローワーク富山、富山障害者就業・生活支援センターから3名参加していただき、本校生徒のキャリア教育や進路指導に関するご意見、ご助言をいただきました。

外部委員からのご意見の一部を紹介します。

- ◎相談窓口で感じていることは、「素直が一番」である。素直な方が採用されやすく長続きする。
- ◎いろんな支援があるが、本人が受けたいと思わなければ意味がない。障害の受容、保護者の理解と協力が必要である。
- ◎生活リズムを整えること。遅刻や欠勤があると、会社側の準備や計画にも影響があるので、毎日通えることがよい。
- ◎体力が一番である。学校にいる間に体力を付け、就職に備えてほしい。
- ◎自分の障害にちゃんと向き合っているか。何ができて、何ができないか知っているか。嫌なことを嫌だと言ってほしい。希望を言えた方がよい。自分を表現できるよう育ててほしい。
- ◎学校にいるときから、自分から分からないことを聞く力（発信する力）を育ててほしい。
- ◎小学部からいろいろな仕事（職業）があるということを知る機会を作るとよい。
- ◎先輩が働いている様子などを見る機会を増やすとよい。